

航空機部品加工に挑戦 鉄道にも事業広げる

納期
相談
オンリー
ワン技術
試作可
小ロット
量産
対応



新たに導入した5軸複合旋盤

業務内容 複雑形状や薄肉形状の 中・大型部品加工に自信

昭和26年に創業して以来、68年にわたってモーター・バルブ・ポンプ部品などの精密切削加工一筋に取り組み、大手メーカー向けの中・大型部品を供給してきた。平成22年頃から航空機部品に挑戦し、現在は航空機の足回り締結部品やプロペラキャップ部品など手がけている。

航空機部品の製造で培った加工技術や工程管理の実績が信頼され、同30年からは鉄道車輪用部品の製造にも着手した。西川町子社長は「複雑形状や薄肉形状が得意で、品物をゆがませない加工方法を確立している」と胸を張る。

強み 生産工程の正しい管理で 新規分野の受注獲得

創業者の古谷勝次氏は、持ち前の研究心を生かして顧客から持ち込まれるさまざまな部品の加工を手がけてきた。顧客からの信頼は厚く、高い技術とともに現在も会社を支える強みとなっている。

近年では、航空機分野の受注を獲得するために製造体制を見直し、航空宇宙・防衛産業の品質マネジメントに関する国際規格JIS Q 9100を取得した。難しい規格だが、西川信之専務を中心に「航空機部品メーカーに通い技術指導を受けながら設備投資も行い、本気で取り組んだ」という。その結果、製造工程を正しく管理する力が身につく、航空機以外にも鉄道関連の受注につながるなど好循環を生んでいる。

設備投資 積極的に投資継続し 第2工場建設も検討

航空機や鉄道の受注拡大と並行して、設備



中・大型部品の加工を手がける



得意な複雑形状や薄肉の加工

今後の展望 人材と設備の拡充で 企業として成長目指す

投資も続けてきた。航空機部品加工への参入に際しては、CAD/CAMシステムや3次元測定器を先行投資して導入。その後、アルミ、インコネル、チタンといった難加工材用のマシンクセンタ（MC）も増設した。平成30年には設備更新と製造効率の改善を目的に5軸複合旋盤、ドリル研磨機、ツールプリセッターも新たにラインアップ。これが呼び水となり、鉄道向けの車輪周辺部品の受注も決まった。

新しい設備が増えて本社工場が手狭になりつつあるため、近い将来には第2工場を構えることも検討している。

この先受注を狙うのは、直径300mm〜400mm程度の大型部品だ。このサイズは国内に安定した需要がある一方、加工できる企業が少ないという。構想中の第2工場に現在より一回り大きな機械設備を揃え、大型部品の製造体制を構築したい考えだ。

その際、必要となる人材として2019年には同社初のベトナム人実習生2名を迎えることを決めた。西川専務も「勉強熱心で向上心があるとうかがえる」と期待する。社内でも工場を統括する人材や、高機能化する設備を扱う人材を育成中だ。ハードとソフトの両面を充実し、企業としての成長を目指す。

当社の歴史



昭和26年の創業以来、精密加工一筋に歩んできました。現在は航空機部品や鉄道車輛部品の加工も手がけています。1年1年、積み重ねた技術のすべてが製品に表れると考えて、ものづくりに取り組んでいます。人と人とのつながりを大切に社内改革を重ねながら、より良い会社づくりにまい進しています。

代表取締役 西川 町子さん

<http://www.fiw.co.jp/>

主な事業内容

航空機、車輛、船舶バルブ、建機油圧など金属部品の精密加工

主な取引先(納入先)

航空機部品メーカー、船舶バルブメーカー、車輛メーカー

- 住所 〒571-0015 門真市 三ツ島5-7-27
- TEL 072-883-3992
- FAX 072-883-0374
- 創業 昭和26年5月
- 設立 昭和55年9月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 9名